



ティーンズの本棚

2025 年 7 月 第184号
 (月1回発行)
 半田市立図書館
 tel 0569-23-7171
 亀崎図書館
 tel 0569-29-5060

今月のテーマ「自立」

夢でみた庭 ながさき なつみ 長崎夏海／著 さとう まきこ 佐藤真紀子／絵 講談社 (T913/ナ)



中学2年生の唯^{ゆい}は、6歳下の弟ヒロと母の3人暮らし。仕事で忙しい母の代わりに弟の世話や家事を毎日こなしています。弟がいないある夏の日、我に返ると、自分は行きたいところもやりたいこともなくて、心が空っぽだと気づきます。そんなとき、弟のヒロが「おねえちゃんにはもっと自分のことをやってほしい」と言っていることを知らされます。痛いところを突かれた唯は…。

新しく入った本

この世は生きる価値がある

は せ が わ 長谷川まりる／作 ポプラ社 (T913/ハ)



14歳になったばかりの中学生、高橋天山^{たかはしてんざん}は、春休みにインフルエンザにかかり、悪化して病院にかつぎこまれました。不運にも、あっけなくあの世に旅立ったそのとき、天山の体に《魂だけの自分》が入り込みます。人間世界を知らなかった《自分》は、記憶喪失になった天山になりきって、「生きる」ことの喜びを知ります。しかし、同時に苦しみを味わうことに…。

消えたモナ・リザ

ニコラス・デイ ニコラス・デイ／作 ちばしげき 千葉茂樹／訳 小学館 (J720/テ)



1911年、ルーブル美術館から、名画モナ・リザが盗まれました。モナ・リザは、レオナルド・ダ・ヴィンチの代表作で、今では世界で最も有名な美術作品です。パリ警視庁が捜査に乗り出し、それまで無名の作品だったモナ・リザは、一躍注目をあびるようになりました。どのように盗まれ、発見され、美術館に戻ったのでしょうか。実際に起きた盗難事件を題材にしたノンフィクションです。

ちょっと一息

まーふあのはたおりうた おの 小野かおる／ぶん・え
 福音館書店 (E7カ/マ)



まーふあという娘は、毎日歌を歌いながら麻布^{あさぬの}を織っていました。ある日、笙^{しょう}を奏^{かな}でる、青年あーふあと出会い、互いに好意を持ちます。ところが、隣国^{りんごく}との戦いで青年は死んでしまい、残された娘は不思議な布をひたすら織り続けます。それはやがて…。昔々のとある山に囲まれた美しい国が舞台の、七夕伝説に似たお話です。

9類の本



図書館の本は、日本十進分類法によって分類されています。内容によって、0類から9類まで、10個のグループに分かれています。9類には、小説や詩歌、エッセイ、日記、作家研究など、文学に関する本があります。

あなただけの物語のために どうすれば自分を信頼できる?

あさのあつこ あさのあつこ／著 筑摩書房 (T901/ア)



『バッテリー』『No.6』などの著者である人気作家のあさのあつこさん。「書くこと」を通して、自分の本音や内面と向き合い、他人からの借り物ではない表現をするためには、どんなトレーニングをするとよいか、提案してくれます。まるで絵を描くように、文字や言葉で風景をスケッチする「字スケッチ」に、挑戦してみませんか。

作家たちの17歳

ちばしゅんじ 千葉俊二／著 岩波書店 (T910/チ)



だざいおさむ みやざわけんじ なつめそうせき 太宰治、宮沢賢治、夏目漱石など、日本の文学史に大きな足跡をのこした作家たちが、「17歳のときに考え、選択したこと」を紹介した本です。当時の日記などを読むと、進路、恋、親との関係など、いろいろなことに悩んでいたことが分かります。人生の方向性を決定する年頃に誰と出会い、どんな選択をして、何を体験したのか、それが人生にどう反映したのかを考察した本です。



半田市立図書館キャラクター
 ブックんとしおりちゃん

図書館のホームページから、蔵書の検索ができます。また、電子書籍の利用も可能です。(インターネット登録が必要です) 詳しくはホームページをご覧ください。 →

